

夕刊 東北日日新聞

本紙は毎月三十日発行 郵税五錢 印刷費三錢 廣告料一円 行先別 石城郡平町白根 電話二七五

警新排撃について

敢て天下に聲明す

泣いて同志を斬るの此の心情

私事の爲めに公事を曲げ得ず

東北日日新聞社

同業先輩として常に敬意を籠の如き極むべきの文
表せし警城新聞に對し排撃を求めざる事不能である
制誅の劔をかざすの已むな殊に風紀問題が法によつて
きに至つた吾社の立場と其取締りを受けるに至つた近
の理由を敢て天下に聲明す代に於ては夢の間にすら
るものである、其處には泣之れを求めざる事は全くあり
いて同志を斬るの心情と私得ない状態である、然るに
事の爲めに公事を曲げ得ず同志先輩としての警新が斬
る義士の涙がある、單純な如き文を掲載し而も浩然
る同業としての警利競争かとして之れを愧ぢず發賣額
ら殊更誇大の文を作り警新布を禁止され讀者に對して
の信用を傷けんとする意思多大の不便を與へて置きた
にあらざる事、吾社が正義から片々而も其の理由をも
の爲めに敢然として排撃の誌さざる社告をなしたるの
意先鋒をなせし事、社會公
益の爲めに已むを得ざるの
心は愧ぢると思はず過
舉に出でし事を廣く天下に
發表し其の行爲の正義の下
に立脚してなせるものであ
る事を周知せしめ同時に警
新の過まれる道を指示し猛
省を求めんとするものであ
る。

第一、我が國に於て最も淫
文學が發達し好色本が一世
を風びしたと傳はれる元
祿時代に於てすら警新が六
日夕刊二面に掲載せし紙層
で、新聞紙の名譽の爲めに
如何なる場合に於ても重に
新當事者がこのはいげきに

して且つ大なる責務を持つ
もので、若し新聞紙にして
此の使命と責務とを忘れ
ものがある場合には、毒素
を掃とすためには大衆は
擧げて排撃をなし葬り去る
の必要がある。大衆の味方
であり大衆と共に進むべく
宣言せし吾社が此の大衆の
當然の欲求に依つて、制誅
の劔をとりしもの其處にゴ
ウ末も私情あるなし長き警
新の歴史—先輩紙としての
尊敬は要するに之れ片々た
る私情のみ、社會に害毒を
流せし其の罪過を天下に發
表し正しき大衆の批判を求
め、警新紙が再びかかる迷
路に踏み込み讀者が再びか
かる侮辱を受けざる様、排
撃の劔をとり彈壓の拳を擧
げしは、警新が若し悔ゆる
の道を知らざれば再び起ち
與はざる様葬り去れど、吾
社が絶叫せし第三の理由で
ある。

吾社の排撃に對してかすか
に悲鳴をもらした八日夕刊
のかみくすかこの一文は、
雲助流のべら棒文章其處に
は一片悔後の情を見出す
事が出来ず唯くやしまじれ
にはい立たた臆疲犬の悲
鳴を近きものである。
之れを警新流の文章を以て
現はせば身の程知らぬ尻く
さ虫のたわ言、紳士的常識
を知らざる低能さにむしろ
憐愍の情を催すもの。

吾社は正義の爲めに堂々の
軍陣を張れるものにして警
新當事者がこのはいげきに

人騒がせだつた

白銀強盜事件

泰山鳴動して鼠一匹も出ず

口あんぐりの平署

平野白銀町阿部憲次方の覆が入つたと言ひば夜の外出
面強盜事件について平署でも思ひ止まるものと女の淺難に
は全署員を召集し七日夜かばかな考へから大クサに強
に徹宵して警戒線を張り犯
盜と言つたものらしく平署
常には狼狽何等の方法によ
つて水道を急設せぬ時は湯
を益々益々衰微するばかり
であるとして過般來より善後
策を講じて居るが一方町民
側は手ぬるい當局の對策な
どは今の場合に間にあわぬ
とて町民は町民で水道施設
を目論見協議中であるから
湯本町の水道敷設問題も愈
々具体化したものと見ら
れてゐる。

漸く落付いた
各種團體
……行先決定
平警察署の移轉決定と同時に
石城郡各種團體では團體の
基金もなく建物を新築する
事か不可能な状態なのでさ
しん中のセツが苦にし強盜

湯本町民大弱り

町民か寄々協議中

水道の敷設は刻下の急務

湯本町に於ける飲料水の欠午後三時四十分頃全家の精
乏はその極に達してゐる矢米所に於て麥つき中頭に巻
先飲料以上の雑用水である
きつてゐる手拭の端がべ
綴坑よりの温泉迄も三日
乃至四日と續いた断水する
ので町民は全く水攻めの
に遇つて困憊の極に達し
てゐるこれには町當局も非
常に狼狽何等の方法によ
つて水道を急設せぬ時は湯
を益々益々衰微するばかり
であるとして過般來より善後
策を講じて居るが一方町民
側は手ぬるい當局の對策な
どは今の場合に間にあわぬ
とて町民は町民で水道施設
を目論見協議中であるから
湯本町の水道敷設問題も愈
々具体化したものと見ら
れてゐる。

社告

本社が湯本町に左の如く
編輯支局と本紙專賣所と
を設けましたから社告致
します
編輯支局長 神原富治
(湯本町上川住宅地)
專賣所 大井川正巳
(湯本町字上町)

木炭の等級

檢査員の會議
第三郡木炭同業組合では木
炭の品質改良を圖る爲めに
四月一日から生産木炭の等
級檢査施行することとなつた
が檢査施行に先だち十日午
前十時から平町元郡役所内
事務所に於て等級檢査員會
議を開き等級檢査實施につ
いて種々協議を重ねる由

精米屋の

やこへ人
石城郡川部村生れ當時泉村
大字瀧尻精米業佐藤金慶方
議を開き等級檢査實施につ
いて種々協議を重ねる由

各種團體

……行先決定
平警察署の移轉決定と同時に
石城郡各種團體では團體の
基金もなく建物を新築する
事か不可能な状態なのでさ
しん中のセツが苦にし強盜



主演 江直見伏 郎次傳内河大 中映上館平 會大談政岡大

煙の中に描く(六) 四倉町 夢生 彼はソ上の魚に等しかつた 彼自身の存在が全然無力で あることを認識して悲しく なつた。

つたことが判明した。 バットの煙は彼の眼の前に 渦巻いて流れた。彼の妄想 は煙の如く變轉していつた 煙草好きな人、スターを吸 ふ檢事の心理状態には興味 が湧いた。彼は彼希望の總 てを煙に溶してゐるやうな 感じがした。戀愛！それも 煙に投込んでしまつた。彼 は考へた。彼の一切は煙の 中に描かれてゐた。煙！煙！ ！室に漂ふ紫煙に彼は彼の 將來を夢みてゐたのであつ た。(終)

通人食堂 煮込みおでん 江戸茶めし酒 御上 梅月 衛生、便利、採光、通風上より講究した最も 幸福な家相鑑定と測量、製圖の需に應ず 平町白銀町 石島陰陽館 電話六五〇番 本紙愛読者に「昭和四年年鑑」(人相の秘訣) を無代贈呈す。部数に限あり申込順に發送す 産婆 生徒募集 申込期日・四月八日(無試験) 資格……高等卒業以上 私立平産婆看護婦學校 校長 清野キヨ 電話三〇七番 俺が服見よ、自慢ぢやないが 買はぬ者ない、正札堂 アラ 正札堂 物は試しよ、正札堂へ 来てよ、おさんせ、服買ひに アラ服買ひに 薄利多賣は此の店の主義 不景氣泣かせの、福の神 アラ福の神 正札堂 平・四丁目停車場通り

祝刊 磐城共濟病院 祝刊 丸ほん 三丁目・電三五九 月見町工場・電七二三 本店とツクエの御用命は 本箱とツクエの御用命は 進級生學 ンバカ生學 シーボ生學 女學生用手提カバン 商業學校指定の 特製手提げカバン 平町四丁目 ツルヤ商店 電話一四〇番 親切で勉強の…… 叶屋雜貨店 御婦人御くしあげ 御婚禮お仕度を致します 湯本町上町 大井川喜代 がんな重症でも のめば直ぐキク ◎慢性淋病薬 製特 リベール 一圓 二圓 三圓 五圓 四丁目 小野藥店 電話一四四番 祝刊 平稅務署長 岡部 祝刊 木村科外醫院 電話三〇九番 外科一般(入院隨意) 内臓外科専門 花柳病科 平町六丁目(橋際) 祝刊 平稅務署長 岡部 祝刊